

(仮称) クリーンセンター整備・運営事業

客観的評価結果

令和4年3月23日

志太広域事務組合

志太広域事務組合（以下「本組合」という。）は、令和3年5月31日に公告した「(仮称)クリーンセンター整備・運営事業」（以下「本事業」という。）について、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号）第8条第1項の規定に準じて、本事業を実施する民間事業者を選定したので、同法第11条第1項の規定により客観的評価の結果を公表する。

令和4年3月23日

志太広域事務組合
管理者 焼津市長 中野 弘道

目 次

1	事業概要等	1
2	民間事業者の選定方法	2
3	事業者選定までの経緯	3
4	落札者の決定	4
5	落札価格	4
6	財政支出の削減効果	4

1 事業概要等

1.1 事業名称

(仮称) クリーンセンター整備・運営事業

1.2 対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物（ごみ）処理施設

1.3 事業概要

本事業は、DBO方式により実施する。本施設の設計・施工業務は、民間事業者が設立する共同企業体が行うものとする。ごみ中間処理施設の運營業務は、民間事業者が設立する特別目的会社が行うものとする。なお、民間事業者は、30年間以上の施設使用を前提として設計・施工及び運営を行うこととする。

本施設の設計・施工業務については、循環型社会形成推進交付金（交付率 1/2、1/3）の対象事業として実施する予定である。

1) 事業用地及び整備範囲

事業用地：静岡県藤枝市仮宿・高田地内

整備範囲：上記約 27,500 m²

2) 施設概要

本施設は、構成市全域から発生する処理対象物を受け入れ、焼却処理を行うとともに、処理の過程で発生する熱エネルギーの有効活用を図るごみ発電設備を備えたエネルギー回収型廃棄物処理施設である。また、資源ごみ処理施設（ストックヤード）や関連施設も併せて整備する。

1. クリーンセンターの施設概要

(1) エネルギー回収型廃棄物処理施設

施設の種類	概要	
エネルギー回収型廃棄物処理施設	処理対象物	燃やすごみ（生活系、事業系）※
	年間計画処理量	59,895t/年
	処理能力	223t/日（111.5t/日・炉×2炉）
	処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉

※ 可燃性粗大ごみ及びストックヤード等から発生する可燃残渣を含む。

(2) 資源ごみ処理施設 (ストックヤード)

施設の種類	概要	
資源ごみ処理施設 (ストックヤード)	処理対象物	資源ごみ (蛍光灯・電球、陶器類・ガラス・化粧品のびん、その他の色のびん、乾電池、一般持込み (容器包装プラスチックおよび紙類等の2市が独自処理する品目以外の資源ごみ))
	年間計画処理量	2,354.08t/年
	保管能力	5t/日 (日平均取扱量)
	保管方式	ヤード方式

(3) 関連施設

管理棟、洗車場等 (要求水準書により整備される上記以外の全ての施設)

3) 供用開始

令和9年1月1日 (予定)

4) 事業期間

(1) 設計・施工期間

契約締結から令和8年12月31日まで (予定)

(2) 運営期間

令和9年1月1日から令和28年12月31日までの20年間 (予定)

2 民間事業者の選定方法

本事業を実施する民間事業者の選定に当たっては、競争性、公平性及び透明性を確保するため、設計・施工及び運営に関する技術、事業遂行能力等、並びに入札価格を総合的に評価し、最優秀提案者を選定する「総合評価一般競争入札」により実施した。

3 事業者選定までの経緯

民間事業者の募集及び選定等の経緯は、表 1 に示すとおりである。

表 1 民間事業者の選定の経緯

スケジュール	内容
令和元年 10 月 8 日 (火)	◆第 1 回事業者選定委員会 事業概要説明、事業者選定スケジュール等の審議
令和 2 年 12 月 23 日 (水)	◆第 2 回事業者選定委員会 実施方針 (案)、要求水準書 (案) 等の審議
令和 3 年 2 月 15 日 (月)	実施方針の公表
令和 3 年 2 月 24 日 (水)	◆第 3 回事業者選定委員会 特定事業の評価・選定 (案)、募集要項 (案) 等の審議
令和 3 年 3 月 15 日 (月)	特定事業の評価・選定の公表
令和 3 年 3 月 19 日 (金)	要求水準書 (案) の公表
令和 3 年 5 月 31 日 (月)	入札公告、募集要項公表
令和 3 年 6 月 18 日 (金)	募集要項に関する質問の受付締切
令和 3 年 7 月 2 日 (金)	募集要項に関する質問回答の公表
令和 3 年 7 月 7 日 (水)	参加表明書の受付締切
令和 3 年 7 月 9 日 (金)	資格審査申請書類の受付締切
令和 3 年 7 月 30 日 (金)	参加資格審査結果の通知
令和 3 年 9 月 3 日 (金)	◆第 4 回事業者選定委員会 概要ヒアリングの実施
令和 3 年 10 月 15 日 (金)	事業提案書、入札書の受付締切
令和 3 年 11 月 15 日 (月)	◆第 5 回事業者選定委員会 審査方法、提案書確認事項等の審議
令和 3 年 12 月 10 日 (金)	◆第 6 回事業者選定委員会 本審査ヒアリング、非価格要素審査、審査講評の審議
令和 3 年 12 月 24 日 (金)	落札者の決定及び公表

4 落札者の決定

志太広域事務組合廃棄物処理施設整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、落札者決定基準書（令和3年5月31日公表）に基づき、入札参加者1グループから提出された事業提案書についての審査及びヒアリング等を行い、最優秀提案者を選定した。選定委員会における評価の結果は、審査講評（令和3年12月24日公表）に示すとおりである。

本組合は、その結果に基づき、令和3年12月24日に、タクマグループ（代表企業：(株)タクマ 東京支社）を落札者として決定した。

表 2 落札者 タクマ（グリーン）グループ

代表企業	(株)タクマ 東京支社
構成員	(株)タクマテクノス
協力企業	西松建設(株) 静岡営業所 角丸建設(株) (株)山田組

5 落札価格

落札者として決定したタクマグループの落札価格は、以下のとおりである。

33,400,000,000 円（消費税及び地方消費税を含まない）

6 財政支出の削減効果

落札された価格に基づき、本事業を DBO 方式により実施する場合の本組合の財政支出と、本組合が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、次に示すとおり、現在価値換算で 2,669,352 千円（16.7%）の財政支出の削減が見込まれる結果となった。

（現在価値換算金額）

①従来方式（公設公営方式）における本組合の財政支出	100%
②DBO 方式における本組合の財政支出	83.3%
③DBO 方式の導入による財政支出の削減効果（＝①－②） 【(①－②) ÷ ① × 100】	16.7%